

令和5年度
(令和5年6月～令和6年5月)

環境活動レポート

令和6年10月10日



太陽建設工業株式会社

環境活動レポート

目 次

1. 組織の概要	2. 認証登録の対象範囲	1
3. EA21実施体制		2
4. 環境経営方針		3
5. 環境目標		4
6. 環境活動計画		5
7. 環境目標の達成状況及び環境活動の実施状況、その評価結果		6
8. 環境活動の取組とその評価、次年度の取組内容		7
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並び違反訴訟等の有無		8
10. 代表者による全体評価と見直し結果		9

1. 組織の概要

社 名 太陽建設工業株式会社

所 在 地 本 社:久留米市本町8番地の5
みやき町資材倉庫:佐賀県三養基郡みやき町白壁1960-2

電 話 番 号 0942-34-4001
F A X 番 号 0942-34-4034

代 表 者 名 代表取締役社長 坂 田 哲 也

環境管理責任者 総務部 金子 哉昌
福岡県知事(特-4)16393号

許 可 年 月 日 令和4年 9月13日

創 業 昭和31年 5月28日

資 本 金 2,500 万円

事 業 内 容 ・一般建築設計施工
・木造住宅設計施工

事 業 規 模

	単位	R4年度	R5年度
売 上 高	百万円	425	442
従業員数	人	13	13
工事等の件数	件	293	204
事業所延床面積	m ²	1281.84	1281.84

事 業 年 度 6月～翌年5月

2. 認証登録の対象範囲

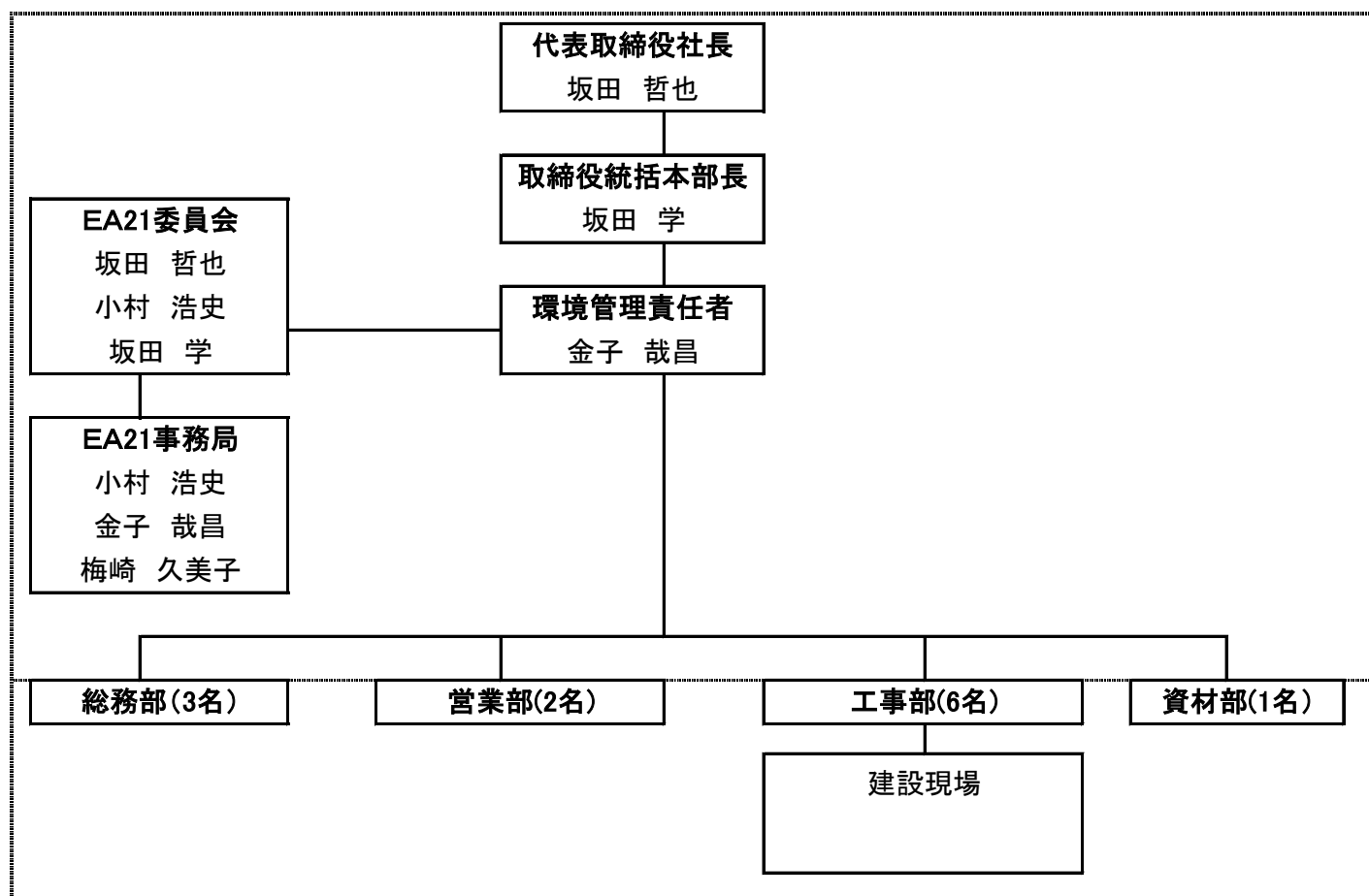
事 業 活 動 建築工事設計施工

対 象 事 業 所 本社、みやき町資材倉庫

上記の全組織・全活動

3. EA21実施体制(従業員13名)

[認証範囲]



氏名	所属	役割・責任・権限
坂田 哲也	代表取締役社長	全体統括。環境経営方針の設定。環境への取組を実施するための資源の準備全体の評価と見直し。環境方針以外の環境文書の制改定責任者
金子 哉昌	環境管理責任者	環境管理責任者として、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長、統括本部長に報告する。
	E A 21 委 員 会	月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する
	E A 21 事 務 局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
梅崎 久美子	総 務 部	電力、水消費量の管理。地域の環境活動の推進。 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量、廃棄物管理。
姉川 哲也	資 材 部	建設現場の燃料(ガソリン、軽油)、資材、廃棄物管理

4. 環境経営方針

太陽建設工業株式会社は、建設業の活動を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって法令厳守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減し、環境コミュニケーションを推進するとともに環境経営の継続的改善に努める。

1. 二酸化炭素排出量削減の為に、以下の取組を行う。
 - (1) 電気使用量の削減
 - (2) ガソリン・軽油使用料の削減
2. 産業廃棄物の削減、リサイクルの推進（廃棄物分別推進）を行う。
3. 水使用量を削減する。
4. 以下の環境における地域貢献活動を行う。
 - (1) 毎月、会社周辺及び道路中央分離帯内の清掃活動
 - (2) 現場周辺の清掃活動
5. グリーン購入を推進する。
6. 地中熱利用換気システム「GE0パワーシステム」など、環境に配慮した施工を推進する。
7. 環境関連法規等を遵守する。

平成 21年 2月 14日 制定

令和 5年 9月 14日 改訂

太陽建設工業株式会社

代表取締役 坂田 哲也

5.環境目標

環境目標		単位	該当 本社	令和3年度 実績	令和4年度 目標(1%)	令和5年度 目標(2%)	令和6年度 目標(3%)
二酸化炭素 排出量の削減		kg- CO ₂	全体	38,993	38,603	38,213	37,823
		kg- CO ₂	本社	35,918	35,559	35,200	34,840
		kg- CO ₂	資材倉庫	2,931	2,902	2,872	2,843
		kg- CO ₂	現場	143	142	140	139
二酸化炭素排出量削減取組目標	電気使用量の削減	kWh	本社	26,933	26,664	26,394	26,125
		kWh	資材倉庫	2,078	2,057	2,036	2,016
		kWh	現場	372	368	365	361
	ガソリン使用量の削減	L	本社	10,997	10,887	10,777	10,667
		L	資材倉庫	50	50	49	49
	軽油使用量の削減	L	資材倉庫	781	773	765	758
	ガス使用量の削減	m ³	本社	17	17	17	16
一般廃棄物排出量の削減		ton	資材倉庫	2,910	2,881	2,852	2,823
廃棄物排出量の削減		ton	資材倉庫	11.5	11.4	11.3	11.2
水使用量の削減		m ³	本社	320	317	314	310
		m ³	資材倉庫	34	34	33	33
		m ³	現場	24	24	24	23
グリーン購入の推進		品目	本社	グリーン商品を選ぶよう心がける			
社会貢献活動の推進		回/月	本社	12	12	12	12
地中熱利用推進		年	本社	地中熱利用(ジオパワー)推奨を進める			

二酸化炭素排出削減において、購入電力の調整後排出係数は0.382kg-CO₂/kWh(九州電力)を使用

備考:()内%は、令和2年度(R2/6～R3/5)の実績をベースとしての削減率

6.環境活動計画

取組内容	活動項目	担当者
電気使用量の削減	事業所 電気は必要ないところは消す パソコンの電源は使用しないときは消す 昼休み(12時から13時)は必要ないところは消す	金子 梅崎 姉川
	作業場 電気は必要ないところは消す	
	現場 電気は必要ないところは消す	
ガソリン使用量の削減	事業所 アイドリングストップの実施 急発進、急停止をなくす	金子
ガソリン・軽油使用量の削減	作業場 アイドリングストップの実施 急発進、急停止をなくす	
ガス使用量の削減	事業所 ガスの使用をなるべく控える	梅崎
一般廃棄物排出量の削減	作業場 ごみの分別を徹底する	梅崎
廃棄物排出量の削減(3%)	作業場 ごみの分別を徹底する 持ち帰りの指導をする	姉川
水使用量の削減(3%)	事業所 啓発ラベルを貼り、意識付けをする	金子 梅崎 姉川
	作業場 啓発ラベルを貼り、意識付けをする	
	現場 啓発ラベルを貼り、意識付けをする	
グリーン購入の推進	事業所 購入する際は、グリーン商品を選ぶよう心がける	梅崎
社会貢献活動の推進	事業所 事業所・現場周辺の清掃活動	金子
地中熱利用推進	事業所 ジオパワーの推奨	金子

7 環境目標の達成状況及びその評価結果

目 標 項 目	目標数値	実施期間				年間実績	達成状況	評価
		R5/6~8	R5/9~11	R5/12~R5/2	R6/3~5			
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO2)	38,213	10,668	9,435	9,100	8,922	38,132	○	前年度と比べ、全体的に削減ができた。特に3F事務所が不在の時、こまめにエアコンのスイッチを消したのが削減の効果として現れた 遠隔地工事の増加
電気使用量の削減 本社 (kWh)	26,393	5,900	4,976	7,878	5,171	23,926	○	
電気使用量の削減 資材倉庫 (kWh)	2,036	245	275	467	414	1,401	○	
電気使用量の削減 現場 (kWh)	365	375	754	802	1,086	3,017	×	
ガソリン使用量の削減 本社 (L)	10,777	3,126	2,794	2,271	2,505	10,696	○	
ガソリン使用量の削減 資材倉庫 (L)	49	0	0	20	20	40	○	
軽油使用量の削減 資材倉庫 (L)	765	359	255	111	199	924	○	
ガス使用量の削減 本社 (m³)	17	0	1	3	2	6	×	
一般廃棄物排出量削減 (kg)	2,852	720	750	750	780	3,000	×	積算が増加し、シュレッター処理が増加、現場では改修工事の増加により産廃も増加した
産業廃棄物最終処分量削減 (t)	11.8	308.0	7.5	27.7	27.0	67.0	×	
水使用量の削減 事業所	314	39	18	29	13	99	○	全体的に節水ができた
作業場	33	4	7	8	8	27	○	
現場	24	0	0	0	0	0	○	
グリーン購入の推進	グリーン購入に配慮	購入に配慮した					○	
事務所周辺の清掃活動 現場周辺清掃	月1回実施 週1回実施	月末会議前にグリーンベルトの清掃を社員全員で実施継続職人さんと一緒に清掃					○	
地中熱利用推進	通年	地中熱利用推奨を進めた					○	

- 電力の二酸化炭素排出量は、九州電力の令和3年度調整後排出係数0.382 kg-CO2/kWhを使用しています。
- 年間通しての目標数値に対し、実績に応じて「達成状況」の欄に「○」または「×」を入力。

8. 環境経営活動の取組とその評価、次年度の取組内容

1、CO₂排出量の削減

今期も引き続き、照明・空調の入り切りに意識付けを より強く心掛けると共に、秋・春の気温の変化に合わせて設定温度を変化させた為、使用量は減少を見ることが出来た。
ガソリンは、現場・営業先により消費量は変化するが、エコ運転の心構えを大事に全体会議で注意喚起を訴えながら続けていきたい。

2、廃棄物排出量の削減

産業廃棄物排出量は、今期改修工事により既存建物解体による産業廃棄物分が混載が増加した為、再利用へ区別できない物が増加した。他の現場では、現場に持ち込んだごみは、各現場担当者が責任分担し材料等の梱包材は各自持ち帰るようにして、現場で出るごみの量を減らしていく。また事務所内においてはシュレッター処理する前に裏紙として利用し、裏紙利用後シュレッターにかけられるようにし、処分ごみを減らすことに務めた。

3、排水量の削減

事務所においての水量は減少した。会社外の仕事が増加した為、トイレの使用頻度の低下及び洗いの量の減少による。
事務所内水回りを点検し、漏水が無い、水の止め忘れはないかをチェックしながら節水に努めています。

4、グリーン購入の推進

事業所では、使用している事務用品を、カタログで確認し適宜グリーン購入に努めた為、今期も目標を達成する事が出来た

5、社会貢献活動の推進

月末にも本社前のグリーンベルトの清掃を、従業員全員で実施継続。
現場にも、週一回現場周辺清掃を、職人さんと一緒に実施継続。

6、地中熱利用推進

65期では、地中熱利用での現場情報が出てきてはいるが、契約までは至っていない。
また、住宅省エネ支援事業者登録を行い、給湯省エネ2024事業の補助金を営業活動に生かし省エネの住宅を推進している。

7、次年度の取り組み内容

次年度の環境経営活動計画は、地中熱利用と併せて、ZEH仕様の住宅又は、補助金がらみに関しても積極的に営業を行うことを計画に考慮する。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

環境法規制等の名称/略称	要求事項	法令条項	遵守状況
廃棄物処理法	保管基準の遵守	法第12条第2項 則第8条	適
	許可業者への委託	法第12条第5項	適
	委託基準の遵守	法第12条第6項 令第6条の2	適
	管理票の交付	法第12条の3第1項 則第8条20.21.26.28.29	適
	管理票の写しの保存期間		
	管理票に関する知事 への定期報告	法第12条の3第7項 則第8条の27	適
	管理票の写しの送付を受けるまでの期間	法第12条の3第8項	適
	事業場外の保管届出	法第12条第3項 則第8条20.21.26.28.29	-
	投棄禁止 焼却禁止	法16条 法16条2項	適
	解体改修工事に伴う「石綿等」 の除去作業	第88条第4項 則第90、91条	-
建設リサイクル法	解体工事-80㎡以上・新築・増築工事-500㎡以上・修繕・模様替工事-1億円以上・その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上	法第12、13、18条	適
オフロード法	ブルドーザ、杭打ち機、タワークレーン等の協力会社の持込建設機械	第9、10条、11条、12条	適
建築基準法	内装仕上げ、換気設備及び天井裏、排水などの工事	法第 57 条 の 2	適
騒音規制法	・騒音防止法で定める特定施設 ・杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	法第3.4.14.15条	適
振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装版破碎機を使用する作業	法第3.14.15条	適
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出	法第18条の15	-
	解体等工事に係る調査及び説明等	法第18条の17第1,2,3,4項	-
	作業基準の遵守義務	法第18条の18	-
	発注者の配慮	法第18条の20	-
フロン排出抑制法	フロン類の種類	法第2条第1項 則第1条第3項	適
	第一種特定製品	法第2条第3項	適
	第一種特定製品の管理者の判断の基準	法第16条第1項	適

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘は、3年間ありませんでした。また利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10.代表者による全体の取組状況の評価及び見直し

評価及び見直しを実施した年月日		令和6年6月27日
評価	環境への取組は適切に実施されているか ・環境方針で誓約したことが実行されているか	・照明等消し忘れの無いよう、各社員へ改めて周知徹底する。 ・エアコンの温度設定を、秋・春の季節は、その日の気温に合わせて設定温度を調整していた。 ・外出時は、極力エアコンのスイッチをオフにするよう全体会議で注意喚起を行った。 ・燃費に関して、燃料費の高騰を全体会議で意識させ、急発進急停車等をしないようエコドライブを勧めさせた。
	環境経営システムが有効に機能しているか ・その場の取組でなく、決められたルールに基づいて行動しているか ・目標を明確にし、取組の結果を評価しているか ・役割、責任等を定め、全員で取り組んでいるか	・毎月末のグリーンベルト清掃活動も、継続実施することで、エコ推進が全社員に効果的に機能している。 ・毎月の全体会議において、各自役割分担で取り組むことを継続できており、有効に機能している。 ・電気使用量、廃棄物使用量を毎月報告し、照明のオンオフを意識する事で、継続して取組を行うことができています。 ・廃材発生量が増えているが、一件工事が増えている裏返しでもある。可能な限り、各下請け業者には廃材を持ち帰ってもらう働きかける。 ・コピーをする前に、コピー設定を確認しミスコピーをなくす事、裏紙使用し一般廃棄物を減らす働き掛けは継続している。
変更の必要性和指示	環境方針 変更の必要性(○有、●無)	[変更の必要性がある場合のみ指示事項]
	環境目標・環境活動計画 変更の必要性(○有、●無)	
	実施体制 変更の必要性(○有、●無)	
	その他の環境経営システムの要素 変更の必要性(○有、●無)	
	●環境負荷、取組の自己チェック ●環境関連法規の取りまとめ ●教育訓練 ●環境コミュニケーション ●実施及び運用 ●緊急事態への準備と訓練 ●取組状況の確認と評価 ●問題点の是正処置 ●文章及び記録の作成整理	